

第 61 長崎都市経営戦略推進会議

平成 29 年 7 月 3 日 (月)

10 : 00 ~ 12 : 00

長崎商工会議所 2F 特別会議室

議 題 等	資 料
1. 議長挨拶	
2. 議題等 <協議事項> (1) 第 15 回長崎サミットについて	資料 1
<その他> (2) ワーキングの活動状況	
3. 閉会	

<今後のスケジュール>

第 6 2 回長崎都市経営戦略推進会議 H29 年 7 月 24 日

第 1 5 回長崎サミット H29 年 8 月 1 日

第15回長崎サミットにおける発言内容
(現時点でのまとめ)

(○：提出のあった発言事項 ■：サミットで発言を求めたいこと。確認したいこと。)

1. 若者の地元定着、人材育成

(1) COC+事業

- 14回サミット以降の取組状況、目標達成に向けた今後の計画
- 各機関が担う役割を再確認

(2) UIJ ターン

- 県・市の取組
- 企業の受入体制

(3) N なび活用

- どのような状態にしたいのか。そのために、各機関が担う役割を確認

(4) 企業の受入体制の充実・強化

- 魅力ある企業を育成し、情報発信するための取組
- 処遇の改善
- 企業の魅力発信
- Nぴか

(5) 産業人材育成戦略（県策定）

- 戦略策定の意義と具体化に向けた企業等の取組

(6) 生産性向上

- 今後産学官で重点的に取り組むテーマとするのか。
- 中小企業対策
- 生産性向上に資する人材の育成

(7) 高齢者・女性の雇用促進、ワークライフバランス等

- 今後産学官で重点的に取り組むテーマとするのか。
- 女性活躍、外国人・高齢者の雇用促進

(8) 離職防止

- 人材育成（学校教育、企業内）

2. 交流の産業化、長崎市版 DMO

(1) 観光客の消費拡大

- 地産地消
- 宿泊業における地場産品提供

(2) おもてなしの強化

- 取組の継続・拡大

(3) 長崎市版 DMO の体制構築・強化

- DMO 設立に向けた機能、工程、関係機関の合意形成、各々の役割（の方向性）確認

- 交流の産業化と一体的に推進する。

- 観光消費拡大対策

- インバウンド戦略の推進確認

(4) 観光産業の生産性向上

- 今後、重点的に取り組むテーマとするのか。

3. MICE 誘致推進

(1) MICE 誘致

- 関係機関の役割と取組の確認

4. 造船・海洋人材育成・研究開発拠点整備

(1) 広範な海洋関連産業の拠点形成

- 関係機関の役割の確認

- 大学における人材育成

- 大学における取組

(2) 基幹製造業振興対策ワーキング

- 具体化に向けて、各機関の連携・参画について確認

- 検討状況と今後の活動

5. 新幹線

- 軌間可変技術評価委員会検討結果等を見極め発言

5. 水産業振興

- 水産業の振興・人材育成

6. BSL-4 設置に向けた取組

- 拠点形成に向けた取組・進捗

第15回長崎サミット進行表

	長崎商工会議所	長崎経済同友会	長崎県経営者協会	長崎青年会議所	長崎県	長崎市	長崎大学
交流の産業化 長崎市版DMO	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客の消費拡大促進 <ul style="list-style-type: none"> ・かんぼこ、地魚、県産酒等の地産地消推進 ・地元宿泊業、飲食業への地産品利用養成 <ul style="list-style-type: none"> ・かんぼこの所感・ホテルにおける提供 ○域外販路拡大策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本橋長崎館」の活用等による情報発信の強化（商品開発、マーケット対策） <ul style="list-style-type: none"> ・県を挙げた商談会・物産展開催 ○おもてなしの強化（継続的取組・拡大） <ul style="list-style-type: none"> ・リピーター獲得対策 ・宿泊業等の生産性向上支援 ○長崎市版DMOの設立・体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の産業化と一体的に検討・推進 <ul style="list-style-type: none"> ・観光消費拡大対策 <ul style="list-style-type: none"> ■「観光消費額拡大委員会」の活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎市版DMOの進展に向けた長崎国際コンベンション協会との連携 ○観光産業の生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・物産販売、商品開発 ○インバウンド誘致に係る九州地域の連携 <ul style="list-style-type: none"> ■「交流の産業化委員会」の活動状況 				<ul style="list-style-type: none"> ○交流の産業化への取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点施設活用検討 ・観光立国ショーケース ・長崎市版DMO ・交流の産業化応援補助金 ○「交流の産業化」推進に係る経済団体等との連携 <p>DMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インバウンド戦略 ○数値目標 ○長崎市版DMOの合意形成、マーケティング機能、ブランディング機能、ワーキング、個別マッチング、エリアパートナーに経済界等と具体的にどのように対応するのか ○インバウンド戦略の推進体制 <ul style="list-style-type: none"> ・長崎観光マーケティングラボ ・ワーキング ・個別マッチング ・エリアパートナー ■DMOの2020年の完成版に向けて経済界等とどのように取り組むか <ul style="list-style-type: none"> ・組織・人員の見直し、財源等 	
MICEの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○各団体によるMICE誘致推進 ○MICEビジネスの啓発、地場中小企業の参入支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○MICE誘致への経済界の活動 		<ul style="list-style-type: none"> ■MICE誘致への取組 		<ul style="list-style-type: none"> ※今後のスケジュールについては詳細はせずに資料対応 ○経済界等の誘致への主体的取組 ○市民の理解促進 ■MICEの市民にとっての価値を理解してもらおう取組 	
新幹線の開業効果の最大化		<ul style="list-style-type: none"> ○九州新幹線西九州ルートフル規格化に向けた県北及び佐賀県との連携 			<ul style="list-style-type: none"> ○FGT技術開発の動向等 	<ul style="list-style-type: none"> ○新幹線本来の開業効果が最大限発揮できる山陽新幹線への直接乗入を実現する最終的な西九州ルートの在り方とそこに至る道筋を早急に示していただくよう今後国に対し県、沿線市と一体となって要請 	
造船・海洋人材育成・研究開発拠点整備		<ul style="list-style-type: none"> ○海洋産業を含めた造船人材の育成について今後の方向性 ○三菱重工との連携と地元での事業展開の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ■造船・海洋人材育成に係る対応（三菱重工の対応） 		<ul style="list-style-type: none"> ○県の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ○「造船造機研修センター」の三菱重工内での実施に対する期待 ○造船人材育成に対するオール長崎での取組 ■実施に当たっての長崎市の支援等の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋産業の拠点形成に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・広範な海洋人材育成への貢献 ・海洋未来イノベーション機構における取組状況、今後の計画
水産振興					<ul style="list-style-type: none"> ○県の取組等（養殖・輸出） 		<ul style="list-style-type: none"> ○長崎県における水産業の振興、人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・水産・海洋研究者・技術者育成
BSL-4の設置に向けた取組							<ul style="list-style-type: none"> ○拠点形成に向けた取組の進捗 <ul style="list-style-type: none"> ・世界最高水準の安全性の確保と地域・世界への貢献 ・進捗状況、今後の工程

第15回長崎サミット 人材育成・定着関連発言概要

	長崎商工会議所	長崎経済同友会	長崎県経営者協会	長崎青年会議所	長崎県	長崎市	長崎大学
1. 若者の地元定着等							
(1) COC+	■企業の対応	■企業の対応	■企業の対応				○14回サミット以降の取組、目標達成に向けた今後の計画
(2) UIJターン	○企業の魅力、地域の魅力発信				○UIJターンへの取組		
(3) 産学官情報共有等							
①Nなび	○Nなびの活用	○Nなびの活用			■Nなびの目標 ■各機関の取組		■大学の取組
②奨学金							
(4) 企業の受入体制 充実・強化	○企業の魅力、地域の魅力発信 ○企業の磨き上げ ○処遇面の改善 ○Nなびか ■企業に対する必要な支援	○Nなびか	■企業の課題		○Nなびか（職業環境の情報発信）		
2. 人材育成							
(1) 産業人材育成戦略					○戦略の推進・活用・具体化についての依頼		
(2) その他							○トビタテ！留学ジャパン「長崎ブレイクスループロジェクト」取組状況 ○地方創生に関する大学改革に向けた中間報告
3. 働き方改革							
(1) 生産性向上	【再掲】 ○中小企業の生産性向上 ・IoT、ICT、AIの活用研究。リテラシー向上	■生産性向上のために必要な取組			■生産性向上に係る県の施策 ■今後産学官で取り組む必要性		
(2) 高齢者・女性の雇用 促進、ワークライフバランス	○ダイバーシティ ・女性活躍社会、外国寺院・高齢者活用				○女性活躍		
4. 早期離職防止	○企業が望む人材の育成 ○小学生からの教育 ・ふるさと愛の醸成（メディア等との連携） ○企業内人材育成の支援 ・中堅社員、チームリーダーの育成						

主要施策ごとの進捗状況、方向性

《 全体的な項目 》			
	進捗状況	方向性	
運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎サミットの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・H21.7 第 1 回開催 ・H29.2 第 14 回開催 ○長崎都市経営戦略推進会議開催 <ul style="list-style-type: none"> ・年 9 回程度開催 ・H29.4 第 59 回開催 ○ワーキングチーム（WT）の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹製造業関連客船の連続建造支援については終了 ・地場中小企業対策工業会の活動につなげる。 ・産学官連携WTの活動テーマとして、工業高校生の地元企業への就職促進の実績等を踏まえ対象範囲を大学生に広げて検討 ・「魚の美味しいまち長崎WT」の組成〈H27.8〉 ○発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケット対策WTにおける県のアンテナショップ設置の要望、県との意見交換 ・アンテナショップ開設〈H28.3〉 ○長崎市版DMOの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・「長崎市版DMO設立推進協議会（仮称）」の設置提言〈H28.2〉 ○長崎サミットの活動が地方創生に関する特徴的な取組として内閣府が選定〈H29.1〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎サミットプロジェクト関連事業に対する資金支援体制の強化 ○ワーキングチーム（WT）の活動の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・基幹製造業 WT の活動テーマを、造船・海洋産業の人材育成・研究開発拠点整備の調査・検討とする。〈H28.11〉 ・「魚」と「観光」を結びつけることによる新たな観光商品、魚のブランド再構築、水産物の消費等の拠点整備を「魚の美味しいまち長崎WT」で調査・検討 ○発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ開設を受けた企業等による積極的な活用 ○観光地域づくりの舵取り役（長崎市版DMO）設置推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「長崎市版DMO」関連事業について、必要に応じてWTで調査・検討 	
	主な関係機関		
	推進会議、経済団体、行政、大学		
世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・明治日本の産業革命遺産登録を対外発信するための年賀状キャンペーン展開〈H27.11～12〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○「長崎と天草の潜伏キリシタン関連遺産」の H30 年度登録を目指す。 ・年賀状キャンペーンによる後押し等 	
	主な関係機関		
	推進会議、県、市、関係団体		
新幹線	進捗状況	方向性	
	<ul style="list-style-type: none"> ・数次にわたる要望活動 ・関係機関との情報交換 ○武雄温泉駅での対面乗換方式による平成 34 年度開業で合意〈H28.3〉 ○FGT 車両の導入に関しては、H29. 夏の技術評価委員会で耐久走行試験を再開できるかを判断 	<ul style="list-style-type: none"> ○サミットプロジェクトにおける基本的な立場 ・H34 年度の山陽新幹線への直接乗入による開業効果の最大化 ・H29. 夏の技術評価委員会の結論を踏まえ、県等の関係機関から情報を収集しつつ、関係機関と一体となって必要な活動を展開 	
	主な関係機関		

	推進会議、県、市、関係団体	
MICEの推進	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○MICE誘致推進協議会設置〈H26.8〉 ・MICE講演会、MICE研修会、新聞意見広告掲載 ○MICE推進を確認【推進会議】〈H26.10/H27.7〉 ○交流拠点用地について、MICEを中核とした施設とする活用方針が示された。〈H28.3〉 ○市議会でMICE施設を建設・運営する業者の公募選定費用に係る予算を可決〈H28.12〉 ○MICE開催に伴う業務の受注拡大等を目指して関係事業者によるネットワーク発足〈H28.11〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○MICE施設等の開業〈H31.11予定〉 ○各機関によるMICE誘致への取組 ・MICE誘致可能性の調査結果に基づく関係機関・団体による誘致活動 ・誘致に必要な活動資金を民間において調達 ○MICE開催に伴う業務に多くの地元企業等が参画できる体制（「長崎MICE事業者ネットワーク」）の活動
	主な関係機関	
	MICE誘致推進協議会、市、推進会議、関係団体	

《 基幹製造業 》		
ながさき海洋・環境産業拠点特区の活用	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○特区について、3つの地域ワーキングにより課題を抽出し、国と協議 ○長崎海洋産業クラスター形成推進協議会を設立〈H26.3発足〉 ○海洋再生可能エネルギー実証フィールドに県内3海域選定〈H26.7〉 ○数値目標 (1) 県内造船所による高付加価値船・省エネの建造量 目標:220万総トン(H29年度) 実績:226万総トン(H28年度、進捗度104%) (2) 県内造船所によるバラスト水処理装置の取扱件数 目標:100件(H29年度) 実績:49件(H28年度、進捗度88%) (3) 県内造船所が建に携わったあるいは設置された海洋再生可能エネルギー利用発電設備の総設備容量 目標:30MW(H29年度) 実績:9MW(H28年度、進捗度150%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ワーキンググループを中心に課題を抽出し、国と協議 ○特区の継続を検討中 ・継続された場合においては、造船・海洋関連人材育成等に特区を活用できないか検討
	主な関係機関	
	基幹製造業振興ワーキングチーム、県、市、企業	
基幹事業所との連携推進	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○大型客船建造に係る宿舍・倉庫等の確保支援〈H23〜〉 ○客船建造等に係る情報収集 ○基幹製造業合同説明会開催〈H23〜〉 ・H28.11.15 第6回基幹製造業合同説明会開催 ・基幹製造業合同説明会の一環として、工業高校生、大学生による基幹製造業の工場見学実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○大型客船連続建造の終了により支援活動を終了 ○基幹製造業合同説明会・工場見学会の継続実施

	主な関係機関	
	基幹製造業 4 社	
造船業の競争力の維持・発展	進捗状況	方向性
	○造船・海洋関連産業の人材育成・研究開発拠点整備をテーマとした WT を設置 (H28.11) ・造船関連人材のニーズ等調査を実施	○WT において、H31 年度の造船・海洋人材育成、研究開発拠点の整備に向けた調査・検討を継続実施
	主な関係機関	
	推進会議、関連企業、国、県、市、大学等教育機関	
地場企業の競争力強化への支援	進捗状況	方向性
	○戦略産業雇用創造プロジェクト指定 (H25.7) ・H25～27 の雇用創出 目標:1,089 人 実績:1,165 人 ○長崎工業会、長崎工業高校の地場企業就職促進への取組 ・県内企業への就職率 H27.3 卒…34% → H28.3 卒…53% → H29.3 卒…54% ・上記の実績を踏まえ、大学生の地元企業就職促進策を検討	○基幹製造業 WT において、中小造船業等の競争力強化等につながる人材育成策等について調査・検討 ○長崎県内の工業会と工業高校が連携し、地場企業就職促進への取組を強化
	主な関係機関	
	地場企業振興ワーキングチーム、工業会、県、市、商工会議所	

《 観 光 》		
おもてなしの充実・推進	進捗状況	方向性
	○アダプトプログラムへの参加促進 ・154 グループが参加 ○「おそうじさるく」への参加促進 ・13 団体・企業が参加 ○おもてなしの強化、インバウンド対策を検討 ・きれいなまちづくり ・案内板の設置 ○Wi-Fi、情報発信・提供のためのアプリ等について、WT において勉強会を実施 (H27.12) ○「長崎県総おもてなし運動推進会議」設置 (H24.3) ・運動強化のスタートアップを確認 (H28.8 サミット)	○おもてなし日本一の長崎県を目指した「長崎県総おもてなし運動」の強化 ・「ワンランク上のおもてなし活動」を支援 ○アダプトプログラムへの参加企業拡大のための啓発・広報活動 ・市全体での展開を目指す ○「おそうじさるく」への企業参加の呼びかけ ・コンベンション協会と促進策について協議し、対応を検討
	主な関係機関	
	おもてなしの飛躍的向上ワーキングチーム、長崎県総おもてなし運動推進事務局	
情報発信の充実・強化	進捗状況	方向性
	○東京日本橋に県のアンテナショップ「日本橋長崎館」開設 (H28.3)	○アンテナショップの開設を受け、関係企業等の積極的な活用促進

	主な関係機関	
	マーケット対策ワーキングチーム、県	
まちの魅力づくり	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎の「和」のシンポジウム開催 (H25.10) ○長崎の「和」を磨くワークショップ開催 (H26.2) ○長崎歳時記「暦」の作成 (2014年版、2015年版) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちぶらプロジェクトの推進
	主な関係機関	
	観光資源の再構築ワーキングチーム、市、企業、市民	
夜景観光の推進	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎夜景プロモーション実行委員会設立 (H25.9) ○総文祭、国体、ねんりんピック等の開催時における光のおもてなしの実施、稲佐山電波塔をライトアップ、夜景観賞を呼びかけるチラシの作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> ・電波塔ライトアップについては、市において予算化 ○「長崎夜曲」の制作、プロモーション、楽譜配布、映像と組み合わせたPRの実施 ○「年賀状で長崎夜景をアピールすうで」キャンペーンの実施 (275,000枚販売) ○市タクシー協会に対し、夜景を組み込んだコースの設定を要請。協会において対応 ○視点場の整備 (鍋冠山、稲佐山) ○「全国商工会議所さきり輝く観光振興大賞」受賞 (H28.7) 	<ul style="list-style-type: none"> ○夜景の観光資源としての定着 <ul style="list-style-type: none"> ・夜景観光の魅力の向上 ○プロモーションに係る積極的な広報 ○市民に根付いた活動を目指す。 ○長崎市「環長崎港夜間景観向上基本計画」(H29.5策定)の実現への取組
	主な関係機関	
	長崎夜景プロモーション実行委員会、長崎国際観光コンベンション協会、長崎商工会議所青年部、市、関係団体	

※観光関連のWTについては、「交流の産業化」、長崎市版 DMO に関連するテーマを検討

《 水 産 》		
水産練り製品の販路拡大	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○「長崎かんぼこ王国」、「長崎かんぼこ王国推進委員会」設立 ○長崎おでん、ちゃポリタン、出島揚げの販売、おでん電車の運行等「かまぼこの日」関連イベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○「長崎かんぼこ王国」の他地域と連携した広域的な活動 ○対外的な販売促進強化
	主な関係機関	
	長崎かんぼこ王国推進委員会、市	
「食と観光」等を踏まえた	進捗状況	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○水産3研究機関 (西海区水産振興センター等) を視察 ○「魚の美味しいまち長崎」WT組成 (H27.8) <ul style="list-style-type: none"> ・「魚の美味しいまち長崎 海の幸グルメクーポン」を発売 (H28.12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○WTにおいて、「魚」ブランドの再構築、拠点施設の設置について検討
	主な関係機関	

	主な関係機関	
	魚の美味しいまち長崎ワーキングチーム、県、市、大学、関係団体	
長崎の水産の競争力強化等	進捗状況	方向性
	○長崎大学海洋未来イノベーション機構の設置 (H28.4)	○長崎県の水産の競争力を高めるためのWT の設置の検討 ・養殖、輸出等の振興策 ・ブランド力強化、海洋観光、海洋・水産 研究者・技術者育成等
	主な関係機関	
	県、市、大学、関係団体、推進会議	

《 大 学 》		
留学生3000人体制の推進	進捗状況	方向性
	○長崎留学生支援コンソーシアムを設立 (H25.2) ・長崎留学生支援センターにおいて対策を実施 ・中国長崎同学会設立 (H26.8)、ベトナム長崎 同窓会設立 (H28.2) 卒業生のネットワーク 構築 ○H27年度「住環境・就職支援等受入れ環境の 充実事業(文科省)」に採択	○長崎留学生支援センターの財政面の安定化 等体制強化に向けたスキームの検討 ・留学生の住環境・就職等受入環境等の充実 に向けた支援体制強化 ○トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム 長崎県 長崎ブレイクスルー(長崎グロー カル人材育成)プロジェクト実施
	主な関係機関	
	留学生受入体制の充実ワーキングチーム、長崎留学生支援センター、長崎留学生支援コンソーシアム、県、市、経済団体等	
産学官連携の推進・卒業生の地元定着	進捗状況	方向性
	○新メンバー、新テーマで産学官連携ワーキング チームを再スタート (H26.12) ・工業高校生の地元就職率向上に取り組む ・長崎工業会の長崎工業高校への地場企業就職促 進の取組 県内企業への就職率 H27.3卒…34%(78人) → H28.3卒 (H27.12末内定状況)…53%(126人) ○「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)」に長崎大学が採択(H27.9) ○県において「長崎県産業人材育成産学官コンソ ーシアム」を設立し、11のワーキングで検討 を開始(H27.7)。H28年度から8ワーキングに 集約 ○県において、長崎県産業人材育成産学官コンソ ーシアムでの議論を踏まえ「長崎県産業人材育 成戦略」を策定 (H29.3)	○長崎工業高校の取組を支援し、併せて他の 工業高校への拡大を図る。 ○H28年度より、大学生に的を絞った県内就 職率向上への取り組みを強化(COC+との 連携) ・長崎県がH28/3に立ち上げた「Nなび」の 積極活用を推進 ・大学生に企業を知ってもらう機会の拡大 ・大学と企業の連携強化 ○「長崎県産業人材育成戦略」の推進
	主な関係機関	
	産学官連携ワーキングチーム、長崎県インターンシップ推進協議会、県、市、大学、経済団体等	

ディスプレイ等		
1	長崎県	世界遺産（長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産）
2		県内で就職する若者への奨学金返済支援に対する寄付のお願い
4	長崎市	「明治日本の産業革命遺産」ガイドアプリ等
5		ロイヤルコンサートへボウコンサート
6		出島表門橋完成記念式典
7		世界新三大夜景・日本新三大夜景
9	長崎大学	斜張橋ケーブル点検ロボット
9		観光ビッグデータ分析システム
10	J C	ながさき100km徒歩の旅
11		ながさきみなとまつり
12	推進会議	年賀状
13		魚の美味しいまち長崎 海の幸グルメクーポン